

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37082
事業名	ものづくり人材育成支援費					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 地域産業振興課				
	課長名	小室	担当者名	大久保、川崎、須藤	電話番号	211-2392
施策名	主	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	①アクションプラン2019の事業目標:若年層へ向けた啓発イベント等の参加人数(累計)を20,000人(2019年度) ②技能士の技能向上			
		長期	製造業・建設業の人材確保			
	取組内容	市内中小ものづくり企業の計画的な人材育成及び中長期的な人材確保を以下の取組により支援。 ・小中学生向け、技能フェスティバル開催の補助。 ・小中学生向け、ものづくり体験拠点「ものづくりKids拠点」構築。 ・高校生向け、職業体験イベント「ジモトのシゴト ワク!WORK!」開催。 ・事業内職業訓練団体への補助。				
実施結果	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、技能フェスティバルは中止。 ・ジモトのシゴト ワク!WORK!は、令和3年12月8日、9日にアクセスサッポロで開催。30の企業や団体が体験ブースを出展し、4,404人の高校生が来場した。 ・ものづくりKids拠点は、7回の会場開催(木工センター、サッポロファクトリー)、オンライン配信による開催13回を実施し、ものづくりの魅力を配信した。 ・事業内職業訓練費補助は、認定職業訓練校6団体に2,713千円補助。					
事業実施における工夫点	小中高校生それぞれに対して、ものづくり体験や職業体験ができる機会を設けて、若年層への魅力発信に取り組んでいる。					
対象者	札幌近郊製造業者・建設業者、子ども・親	開始	0年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市認定職業訓練費補助要綱 職業能力開発促進法					
他都市の状況	北九州ゆめみらいワーク(北九州市)など					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	5,161	15,000	10,267	18,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	12,361	22,200	17,467	25,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	・ものづくりKids拠点2,700千円 ・ジモトのシゴト ワク!WORK4,752千円 ・事業内職業訓練団体補助金2,713千円 ・事務費102千円			
	令和4年度予算	・ものづくりKids拠点2,700千円 ・技能フェスティバル補助金1,500千円 ・ジモトのシゴト ワク!WORK10,310千円 ・事業内職業訓練団体補助金3,400千円 ・事務費90千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	事業内職業訓練修了生数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	30	35	28	35	
活動指標2	指標名	ジモトのシゴト ワク!WORK!参加生徒数(人)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	開催無し	4,000	4,404	6,500	
成果指標1	指標名	地元企業の印象が良くなった生徒の割合(ワク!WORK!)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	開催無し	80%	46.20%	80%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	ジモトのシゴトワク!WORK!の成果指標は目標達成できなかったものの、令和元年度以来に開催することができ、活動指標を上回る高校生に会場していただいた。ものづくりKids拠点構築については、前年度に続いてリアルとオンラインの併用開催により、コロナ禍における、ものづくり体験の機会提供を実現している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ものづくりの魅力発信にかかる事業は、少人数を対象としたものだけではなく、多くの子どもたちに発信する必要がある。技能フェスティバル、ものづくりKids拠点、ジモトのシゴトワク!WORK!と、幅広い年齢層にもものづくり体験を提供できており、適切な規模である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ジモトのシゴトワク!WORK!については若年層向けイベント開催実績のある(株)マイナビと、ものづくりKids拠点構築についてはものづくり体験拠点を運営してきた事業者とともに実施しており、行政だけでは困難な体験活動の質につながっている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	子どもたちのものづくり体験に係るニーズのほか、コロナ禍において、より一層高校生のリアル体験イベントのニーズがあることが判明しており、子どもたちが将来を考える機会として継続していく必要がある。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	ジモトのシゴトワク!WORK!は、開催回数、出展企業や体験内容について適宜見直し、企業の魅力発信につながるよう改善を図っていく。ものづくりKids拠点は、場所の固定化を図るなど、地域に根付いた拠点として定着するよう実施する。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	無し			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナ禍においても若年層に向けて幅広くものづくりの魅力発信を行うことができ、2年ぶりの開催となったジモトのシゴト ワク!WORK!では、目標を上回る来場者数を達成できたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 若年層へのものづくりの魅力発信による将来的な就職促進、技能士育成に加え、ものづくり企業の現状の人材不足を解決するため、企業の採用力強化支援を行っていく。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他			見直し効果額
		ものづくり企業採用サポート 25,000千円拡充			0 千円